

「キャンパス環境 ご意見箱」ご意見・ご要望報告

「キャンパス環境 ご意見箱」へのご意見・ご要望、ありがとうございました。
平成 18 年 1 月 19 日設置時から同 6 月までに寄せられました内容についてご報告致します。

- 目次 -

TOP【大切なお知らせ】

ご意見・ご要望報告

・【施設に関するご意見・ご要望について】

- (1) キャンパス・施設の計画について
- (2) 維持管理 - 保全について
- (3) 交通について
- (4) その他

・【部局の運営に関するご意見について】

後記

【大切なお知らせ】



6 月 18 日にいただきました「阪大坂周辺にベンチがほしいです」というタイトルのご意見について、健康上の問題であることから緊急措置として仮に休憩用ベンチを設置いたしました。今後、阪大坂にどのような休憩スペースが必要か検討し、必要であれば適切な措置を取りたいと考えています。しかしながら投稿いただいた文面だけではご要望の意図を正しく把握できていない恐れがあります。できましたらもう少し詳しくお話をお聞きしたく、ご意見を下された方のご連絡をお待ちしております。

(写真：仮の休憩用ベンチ)

連絡先：施設部企画課計画係

電話：06-6879-7129 E-mail：sisetukikakukeikaku@ns.jim.osaka-u.ac.jp

ご意見・ご要望報告

・【施設に関するご意見・ご要望について】

(1) キャンパス・施設の計画について、下記の様な内容にて、計 24 件のご意見・ご要望をいただきました。

バリアフリー：キャンパス入口や各建物へのアクセスに対する改善要望（4 件）

- ・豊中キャンパスの福利施設（生協）へのアクセスのバリアフリー、グラウンド横の入口、待兼会館への

アクセスのバリアフリーに関してご意見をいただきました。ご意見を参考に検討させていただきます。

シンボル : キャンパスのシンボルがほしい(4件)

- ・ 大阪大学のシンボルの一つであるイチョウ並木の整備についてご意見がありました。キャンパスマスタープランの次の計画として「緑のデザイン」マスタープランの策定があり、キャンパスの緑について現況と歴史を調査分析し、それぞれの場所にどのような緑を継承し育てていくかをまとめる予定です。ご指摘のイチョウ並木につきましても、吹田・豊中両キャンパスのシンボルストリートなどに整備・継承していきます。
- ・ 大阪大学では、単に建物(時計台など)やオブジェを作ってシンボルとするのではなく、素晴らしい景観形成をもってシンボル空間とすることを目指しています。豊中キャンパスでは待兼山から中山池、イ号館、交流棟横オープンスペース、メインストリート、東口までを一体として捉えたシンボル空間形成を検討しています。吹田キャンパスでは東西通りロータリー付近のエリアをシンボル空間とすべく、現在は、本部棟プロムナードの整備を推進中です。詳しくは、**大阪大学キャンパスマスタープラン(2005.9.13)**をご覧ください。

デザイン : 施設のデザインに関する要望や質問(4件)

- ・ 建物の外観を統一してはどうかとのご意見をいただきましたが、これについては単に全ての建物の外観を統一することで統一感のあるキャンパスを形成できるとは考えていません。キャンパスを街と例えるなら、優れた街並は個々の建物の個性と通りが調和し形成されます。キャンパスの伸ばすべき個性・空間像・資源および問題箇所を読み取り、整備方針を定めて、個性と魅力にあふれたキャンパスづくりを目指しています。詳しくは、**大阪大学キャンパスマスタープラン(2005.9.13)**をご覧ください。
- ・ 豊中キャンパス待兼山石橋の石版(大阪大学の銘と理念)がひび割れたように変色しているが計画的なものなのかというご質問がありましたが、これは計画的なものです。銘板の石材には今回の整備で新たに設けた「修景壁」に用いたものと同じ小豆島産の花崗岩を使用しています。これらの石は花崗岩の中でも特に白い石材の中の鉄分が部分的に錆びた白・さび系と呼ばれるものです。色味や風合が異なるものを対比させることで、自然の時の変化(エージング)による熟成を意識してもらい、待兼山という里山環境において長い年月の間、人々が働きかけてきた営為と自然との相互干渉の有様をシンボライズできればと考えました。
- ・ 豊中キャンパス阪大坂の石畳が整備され清々しくなったが足を取られるというご意見をいただきました。阪大坂の整備は、里山環境と歴史文化遺産を持つ待兼山の雰囲気や潜在力を最大限に生かし、大阪大学の玄関口にふさわしい、美しさや親しみを持ったデザインを目指し、行ったものです。舗装面に石材を用いて歴史の重みを演出するとともに待兼山の自然と溶け込む雰囲気をつくりだしました。石材舗装は整備前のアスファルト舗装に比べ多少の起伏は生じますが、石材間の目地を浅くし、表面起伏もできるだけ抑える配慮をしています。



学生環境 : 施設の具体的な設備に関する要望(4件)

- ・ トイレの設備、照明の明るさなどについてご意見をいただきました。ご意見を参考に検討させていただきます。

基幹環境 : 構内道路のルートに関する要望など(3件)

- ・ 豊中キャンパスの通学路などについてご意見をいただきました。ご意見を参考に検討させていただきます。

老朽化 : 老朽建物に対する建て替え要望(2件)

- ・ 建物の老朽化対策についてご意見をいただきました。建物の整備のための予算は年々厳しくなっており難しい面が多々ありますが、全体を考え最大限の環境改善効果があがるよう、計画的に整備を進めるべく努力して参ります。

その他、総合学術博物館の計画に対する要望（２件） 池周辺の整備に関する要望（１件）をいただきました。

(2) 維持管理 - 保全について、側溝の臭気、クーリングタワーの水飛沫に対する改善要望を２件いただき、適切に対応いたしました。

(3) 交通について、下記の様な内容にて、計 13 件のご意見をいただきました。ご意見を参考に検討させていただきます。

安全 : 構内の交通安全対策に対する要望（６件）

入構規制 : 入構規制に関する要望（３件）

駐車場 : 駐車場に対する要望（２件）

駐輪 : 構内の駐輪に対する要望（２件）

(4) その他、薬品管理について、ご意見箱ＨＰリンク切れのご指摘などのご意見をいただきました。ありがとうございました。

．【部局の運営に関するご意見について】

キャンパスの環境や施設に関するご意見以外にも、スクールバスの運行に関すること、施設の使い方に関すること、学生窓口の対応に関することなど、運営面に関するご意見を多くいただいております。これらのご意見に関しましては今後の参考のため、関係部局に報告させていただいております。

後記

「キャンパス環境 ご意見箱」に寄せられたご意見については、今後も定期的にご報告いたします。又今回ご報告できなかったことありますが、今後の定期的なご報告の中で反映していきたいと考えております。更なるご意見・ご要望をお待ちしております！

お問い合わせ先：施設部企画課計画係

電話 : 06-6879-7129 E-mail : sisetukikakukeikaku@ns.jim.osaka-u.ac.jp
